

《生ごみ処理容器の上手な使い方》

【 コンポスター編 】

<設置方法>

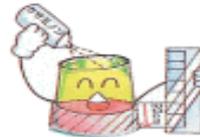
- 地面5cm～10cm位、平らに掘って、埋め込むように置いてください。
- コンクリート、アスファルトなど水のしみ込まない場所には設置しないでください。
- ※ 屋内には設置しないでください。



地面を 5～10cm 位掘って、埋め込むように置いてください。



台所の生ごみをはじめ、庭の雑草や落葉等有機質のものなら何でも投入OKです。



ごみが 20cm 位になったら発酵促進剤をごみの表面にまいてください。発酵を促し、防臭効果も発揮します。



2～3 ヶ月で堆肥のできあがり。菜園や花壇の土壌改良材として大活躍します。

<投入できる生ごみ>

- 残飯（ご飯、調理済みのものなど）
- 野菜の皮、くず・芯 …… 水分をよく切って大きいものは小さく切ってから入れてください。
- 果物の皮・芯 …… 水分をよく切って大きいものは小さく切ってから入れてください。
- 魚や肉 …… 大量に入れると悪臭の原因になります。（米ヌカをまぶしてから入れるとよい）
- 卵の殻、貝殻、骨 …… 細かく砕いて入れてください。
- お茶がら、コーヒーがら …… 水分はよく絞ってから入れてください。
- ※ 雑草、落ち葉 …… 定期的に投入すると水分が抜けやすくなります。

<投入できないもの>

- たばこの吸いがら
- ラップやコーヒーのフィルター、ビニール袋など
- ガラス、陶器、金属
- 大量の魚や肉
- 汁物、油もの …… 分解は出来ませんが、悪臭の原因になったり分解が遅くなったりします。
- 腐ったもの …… 分解は出来ませんが、悪臭の原因になったり分解が遅くなったりします。

<注意点>

- ☆ プラスチック、ガラス、金属などの腐らないものは入れないでください。
- ☆ 必ず、土の上に置いてください。
- ☆ 悪臭が気になりだしたら、「ニュークサミノン」「コンポスト無臭元」「コンポスターメイト」などの発酵促進剤を、ごみの表面にまいてください。
- ☆ ハエやウジ虫の発生防止と駆除には、「コンポパウダー」「パラコンポ」などの害虫駆除剤を使用してください。（水分が多くなると虫が発生しやすいので、時々ふたを取り、虫が入らないよう目の細かい網をかけ日中のみ乾燥させるようにしましょう）
- ☆ ネズミなどを防ぐため、底はきちんと埋め込み、フタ・取り出し口は必ず閉めてください。
- ☆ 夏に比べ、冬は分解が遅くなります。

<投入のコツ>

1. 投入するごみは出来るだけ水気を切ってください。
2. 投入するごみで大きいものは、小さく切ってください。
3. 定期的に、雑草や落ち葉を一面に入れてください。
4. 容器内に水分が多くなったら、雑草や落ち葉、乾いた土を一面に入れてください。
5. 悪臭がするときは、分解が進んでいないと思われるので、雑草や落ち葉、乾いた土を入れて切り返し（混ぜ合わせ）てください。

【 EMサポート編 】

<使い方>



- ① ボカシ肥料専用容器にひと握りのボカシ肥（EM菌）を敷き、生ごみを投入します。
※水切りを充分にしてから生ごみを入れて下さい。



- ② ボカシ肥を振りかけます。

投入した生ごみに 10~20g のボカシ肥を均一に振りかけます。
落とし蓋のようにその上にビニール（スーパーの袋などを丸く切ったもの）をのせると、より効果的です。



- ③ フタを密閉します。

※フタはしっかりと密閉することが成功のポイントです。



- ④ ガス抜きをします。

上フタがふくれてきたら上フタを少し持ち上げてガス抜きをしてください。
（上フタにガス抜き穴があり、自動的にガス抜きするタイプもあります）



- ⑤ 抽出液を取り出します。

抽出液が溜まったら、その都度取り出してください。
取り出した抽出液は、1000 倍液にすると肥料になり、原液又は 500 倍液は、配水管・トイレの臭い消しとして使うことができます。
取り出した抽出液は、腐りやすいのでその日のうちに使うようにしてください。

- ⑥ ねかせます。

①~④を繰り返し、生ごみの量が一杯になったら発酵させるために、密閉したままの状態、夏場で 10~15 日、冬場で 15~20 日程度直射日光の当たらない場所でねかせてください。
その間もガス抜きは必要です。

<チェックポイント>

- 生ごみの水分を充分に切って下さい。
- その日に出た生ごみは、その日のうちに処理します。
- 夏場はボカシ肥を多めにふりかけます。

<効果が出ている目安>

- ☆ 生ごみのような悪臭がしません。
- ☆ 腐敗臭がしなければ、生ごみの状態が変化しなくても大丈夫です。
- ☆ 発酵菌の作用で表面に「白いカビ」が生えることがありますが、これは良好な状態です。

<EM生ごみ堆肥のプランターでの利用法>

1. EM 生ごみ堆肥が大きな固まりにならないように土とよく混ぜます。
2. 雨水がかかると、水分が多くなり腐敗しやすいので、混合した土の上をビニールなどで覆います。
3. 混合した土を 1 週間以上ねかしてから、種・苗を植え付けましょう。